

碧南のトマト、共選出荷スタート！

【10月下旬／碧南市内のハウス、選果場でトマトを紹介します】



J Aあいち中央管内の碧南市で、同J Aトマト部会（部会長：三島正幸）が栽培するトマトの出荷が始まります。

碧南市の南部地区では、トマト需要の高まりとともに昭和30年代から生産が行われてきました。土壌や気候がトマト栽培に適しているため、みずみずしく、あっさりとした食味でたくさん食べることができます。

同部会では、品種や出荷資材の見直しなどを行い、品質のよいトマトを消費者の元へ届けられるように努めています。



選果レーンで選別され、
人の手で箱詰めします



樹上でたわわに実るトマト（土耕）

先進技術と品種選定で収量アップ目指す

同部会では、土耕・ロックウールといった様々な方法で栽培しています。また、積極的に様々な品種を試験栽培しています。

2022年作からの主力品種「かれん」は、21年作の試験栽培で、従来品種よりも秀品率が30%向上したことが切り替えるきっかけとなりました。

J Aあいち中央トマト部会

部 会 員：8人 栽培面積：約4.0ha

出荷時期：10月上旬～7月上旬

最 盛 期：4月～5月頃

総出荷量：約520トン（計画）

流 通 先：中京市場を通じ、大手量販店で販売



つややかな光沢を放つトマト



ひとつひとつ丁寧に収穫します

<メディア対応日>

日 時：2023年10月下旬／午前11時20分

集合場所：碧南営農センター内園芸集出荷場
（碧南市港本町4-40）

そ の 他：

当日はトマトのハウス内（車で約10分）で収穫作業の撮影・生産者へのインタビュー、選果場で選果レーン稼働の撮影を行っていただけます。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

J Aあいち中央総合企画部企画課広報強化対策室（担当：高瀬、杉浦、山村）

TEL:0566-73-5504／携帯(高瀬):080-3667-3853／E-mail:kouhou@jaac.or.jp